

# 食品廃棄物の削減と 従業員の業務軽減

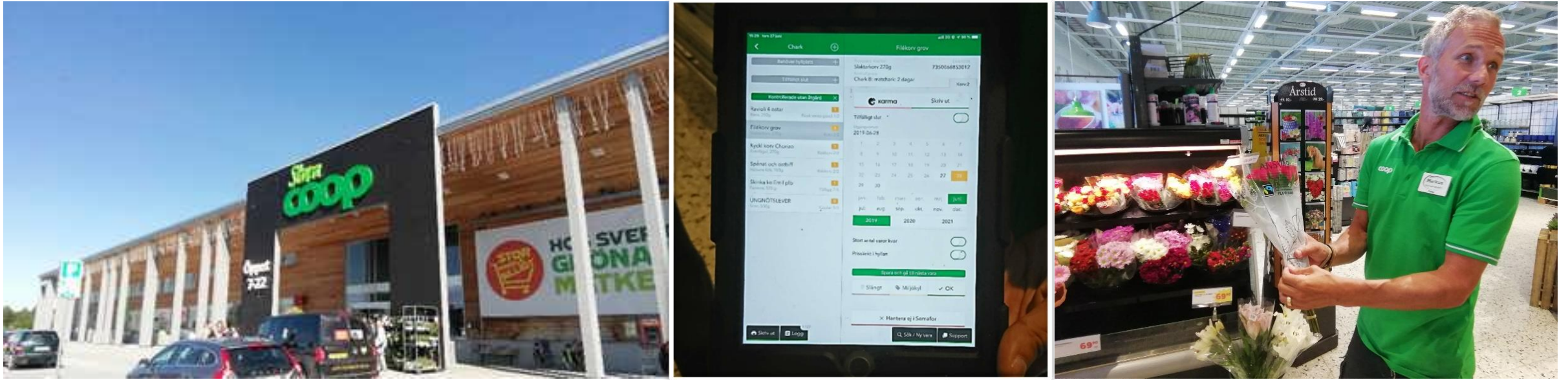
Semafor のご紹介

<ダウンロード用資料>

2021/07/30

SCOPE

# サステナビリティ先進国、スウェーデンで開発されたシステムです。



スウェーデンのCOOPでも採用されています。

現在、17カ国35を超える小売りチェーンが導入されています。



# スウェーデンのフードテック企業 **whywaste** 社が開発。



"なぜ捨てる?"という社名が示す通り、  
小売店での食品の無駄を排除することをミッションに  
様々なソリューションを開発しています。

多くのチェーン店舗での検証を重ねて開発。  
"シンプル×使いやすさ"が特長です。

 【商品特徴】

1. 販売期限が迫ると自動で教えてくれ、食品ロスを防げます。
2. 販売期限チェックの "作業時間とコスト" を削減いたします。
3. 基幹システムと関わりなく、単独で稼働するアプリです。

システム改修することなく、店舗導入いただけます。  
お使いのスマートフォンやタブレットでも操作が可能です。

## Semaforは、"信号機"という意味。 3色の信号で、リスクを持つ商品を教えてくれます。



- ◎ 商品ごとの販売期限に合わせ、リスクの程度を表示。
- ◎ 信号の色に合わせて、売場担当者は対処できます。
- ◎ 計画的に、"売り切る"対処ができるため、食品廃棄物を削減することができます。

### ◎ 売場担当者の作業時間を大幅に削減。

- ◎ 手書きの作業が不要（賞味期限のメモ）
- ◎ ペーパーレス（プリントした資料での管理）
- ◎ 商品を見つけやすい
- ◎ 持ち歩きしやすい小型端末で稼働
- ◎ カメラ機能でバーコードのスキキャンが可能
- ◎ チェック⇒対処⇒フェイスアウト作業が1ステップで





カテゴリー	有効度	導入メリット
生鮮	✕	有効期限表示が無いと機能しません
毎日入荷	✕	目視でのチェックの方が効率的です
チルドパック食品 (数日間隔で入荷)	◎	<p><b>毎日、全品チェックをなされている場合</b></p> <p>➡ <b>作業人員と時間を大幅に軽減することができます。</b></p> <p>&lt;対象商品群&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◎ 食肉加工品</li><li>◎ 水産練り製品</li><li>◎ 乳製品</li><li>◎ 農産加工品</li><li>◎ チルド半製品</li><li>◎ 漬物、総菜</li></ul>
加工食品 冷凍食品	◎	<p><b>定期的に全品をチェックなされている場合</b></p> <p>➡ <b>無駄な作業を削減、販売機会のロスも防ぎます。</b></p>

## ＜資料＞ブラジルのスーパーマーケットチェーンの事例

■ Semafor 導入の効果      乳製品・食肉加工品・パッケージした精肉（約1,500SKU）にて運用

	① 使用前	差 (② - ①)	② 使用后
作業担当者の数		-2	
チェックの頻度	週に3回	+ 2日	週に5回
作業時間 / 週	32時間	-28時間 (-88%)	4時間~5時間 (40~55分/日)

**チェックする回数は増えたが、人員と作業量は大幅に削減！**

**作業時間88%の削減に成功**

## 海外での導入効果

1. 廃棄物を最大40%削減
2. 最大80%の作業時間の節約
3. 97%のクレーム削減  
〈期限切れ商品の販売に関するクレーム〉



## 月刊 事業構想



# 店頭での食品ロス アプリで防止

## バーコード読み取り 店員の負担軽減

小売りや食品メーカーの広告・販促などを手がけるスコープ（東京・千代田）は、スーパーなどの店頭での販売期限切れによる食品の廃棄を防ぐアプリの販売を始める。事前に登録した販売期限に基づき、期限が迫った商品を自動で通知する。期間を手チェックする現場の従業員負担軽減もつながるとして、2021年3月末までに100店舗以上の導入を目標とする。

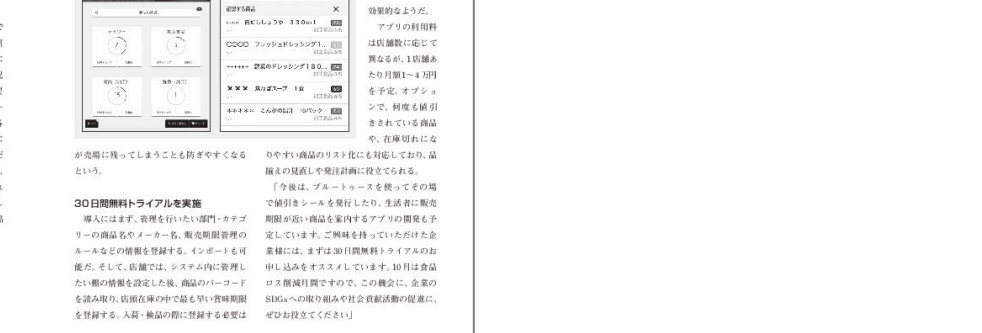
アプリを開発したスコープのWhywast（レオ・フィウエイスト）

販売期限チェック作業の所要時間を大幅に削減できる（海外での導入風景）

### スコープ、スーパーなど100店導入へ

社と、グローバル・パートナーシップ契約を締結し、トナシツブ契約を締結し、に納入し、スコープがアプリを日本の小売事業者に販売し、改善事例を共長」という。セマフォーの川淵がSDGs推進を推進している。セマフォーの川淵は「セマフォー」を「セマフォー」に読み替えるようにして利用します。本部が取り扱っている商品の名前やメーカー名、カテゴリー、販売期限といった情報を登録しておく必要がある。店頭ではセマフォーをダウンロードし、アプリのインストールボタンを押す。その際に、賞味期限もしくは消費期限の目印を入力すれば、販売期限が迫った商品を自動で教えてくれる仕組みだ。

期に近づいた商品を打て、販売などの廃棄を打て、商品の廃棄を防止する。また、商品が廃棄されることなく廃棄されてしまう食品ロスを防ぐ、従業員の見逃しによる、期限を過ぎた商品が売れるのを防ぐ。セマフォーは、販売期限が近づいた商品を知らせ、廃棄、ロス削減を支援するアプリ「Semafor（セマフォー）」の提供に注力しているスコープ、シンパルスシステムと、食品ロス削減だけでなく、日中チェック作業の削減、クレーム削減も期待される。30日間無料トライアルを実施している。



## 全国スーパーマーケット協会 機関誌

### 賛助 会員訪問

株式会社スコープ  
https://www.scoop-inc.co.jp

（店舗ターナー）  
東京1-1-1000  
所在地：〒100-0071 東京都千代田区千代田2-10-2 日本橋三井ビルディングL20F TEL: 03-3556-7610

販売期限管理に特化した導入しやすい  
食品ロス削減アプリ「Semafor」

最大40%の廃棄物を削減  
10月には食品ロス削減月間、小売や食品メーカーの広告・販促などを手がけるスコープでは、最大50%削減の期限切れ商品削減を告知する。スコープのアプリ「Semafor」は、販売期限が近づいた商品を知らせ、廃棄、ロス削減を支援するアプリ「Semafor（セマフォー）」の提供に注力しているスコープ、シンパルスシステムと、食品ロス削減だけでなく、日中チェック作業の削減、クレーム削減も期待される。30日間無料トライアルを実施している。

このアプリは、店舗ターナーの「Semafor」は、販売期限が近づいた商品を知らせ、廃棄、ロス削減を支援するアプリ「Semafor（セマフォー）」の提供に注力しているスコープ、シンパルスシステムと、食品ロス削減だけでなく、日中チェック作業の削減、クレーム削減も期待される。30日間無料トライアルを実施している。

30日間無料トライアルを実施  
導入にはまず、管理を行いたい部門・カテゴリの商品名やメーカー名、販売期限管理のルールなどの情報を登録する。シンパルスも可能だ。そして、店舗では、システム内に管理し、申し込みをスキャンする。10月には食品ロス削減月間ということで、この機会に、企業のSDGsへの取り組みや社会貢献活動の促進にぜひお役立てください。



より詳細な説明をさせていただきます。  
実機によるデモンストレーションもご覧ください。  
オンラインでの対応も可能です。  
お問合せをお待ちしております。

<https://www.whywaste-japan.jp/inquiry/>

**whywaste**  
Japan